

UNTAC・明石代表から

AMDA(岡山)に礼状

たゆまぬ 努力に感謝

カンボジアでタイ国境から帰還する難民の医療救援に取り組んでいる民間の国際協力団体・アジア医師連絡協議会(AMDA) 〓本部・岡山市栢津、菅波内科医院 〓の元にこのほど、国連カンボジア暫定統治機構(UNTAC)の明石康代表から感謝の手紙が届いた。

手紙は現地で活動する高橋央医師(〓) 〓東京都出身 〓へあてたもので英文。「AMDAの活動に深く感謝し

カンボジア難民医療救援

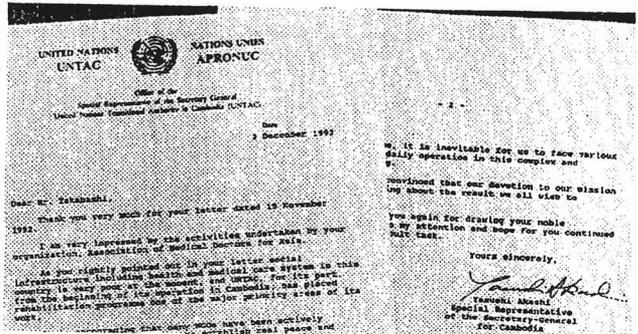
ている」との書きだして始まり「あなた方のような医師グループが人道的立場から、厳しい環境にもかかわらず、健康状態が悪く医療

設備も整っていない地方の人々への援助に、たゆまぬ努力をされていることをと、励んでいる。

現在、カンボジアでは高橋医師ら三人が、首都プノ

ンペンから南西約五十キロの

事情に応じた救援活動を続けていきたい」と話している。



UNTACの明石代表からAMDAへ届いた手紙

さに「私(カンボジア)は(カンボジア)スロッチ郡の診療所を拠点に各地を巡回診療し、マラリアなどの治療にあたる活動に参加する。AMD Aは日本などアジア十三国の医師らで組織。カンボジアのほかネパールなどでも難民の援助に取組んでいる。また近く、国内の民間海外援助団体(NGO)と協力し、ソマリア難民救援のための医療チームをアフリカへ派遣するなど、国際的な医療救援活動を展開している。

菅波茂代表は「私たちの活動が国連などの公的機関に認められたい」と話している。